

平成 27 年 1 月 13 日
内閣官房 IT 総合戦略室

プログラミング教育に関する検討会の開催について

(1) 目的

第 65 回 IT 戦略本部（平成 26 年 6 月 3 日開催）にて複数の有識者構成員から「プログラミング教育」に関する御意見をいただいたことを受け、現状において各主体が取り組んでいる内容を踏まえつつ、今後の具体的な活動内容の方針について整理する。

(2) 検討会の位置づけ

人材育成分科会の下部作業部会として設置。適宜、検討内容を報告する。

(3) 検討事項（案）

国民全体の情報利活用能力向上、突出した IT 人材の養成支援など、その目的・効果を意識した「プログラミング教育」の導入手段・内容について、また、必要な環境のあり方について検討する。

具体的には、次の各事項を想定している。

- ① プログラミング教育の定義（認識合わせ）
- ② プログラミング教育推進に向けた環境整備についての議論（各主体別に）
- ③ 指導者／指導力不足への対応策
- ④ 各主体の役割分担 等

(4) スケジュール

平成 27 年 6 月に中間とりまとめ。（数回開催の見込み）

(5) 構成員の構成について

次の各分野から選定する予定（8 名程度）

- ・学識経験者（2～3 名）
- ・産業界（2～3 名）
- ・教育者（2～3 名）

【参考】

- ・日本再興戦略（抜粋）

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/saikou_jpn.pdf

○IT を活用した 21 世紀型スキルの習得

（中略）

産学官連携による実践的 IT 人材を継続的に育成するための仕組みを構築し、義務教育段階からのプログラミング教育等の IT 教育を推進する。

- ・IT 国家創造宣言（抜粋）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/20140624/siryou1.pdf>

IV. 利活用の裾野拡大を推進するための基盤の強化

（中略）

初等・中等教育段階におけるプログラミング教育の充実に努め、IT に対する興味を育むとともに、IT を活用して多様化する課題に創造的に取り組む力を育成することが重要であり、このための取組を強化する。

（中略）

新しいモノづくりであるデジタル・ファブリケーションやロボティクス、プログラミング、コンテンツ作成等、学生等が、将来を展望した技術を習得できる環境整備を教育環境の IT 化とともに進める。

（中略）

初等・中等教育段階でのプログラミング、情報セキュリティ等の IT 教育を充実させ、高等教育段階では産業界と教育現場との連携の強化を推進し、継続性を持って IT 人材を育成していく環境の整備と提供に取り組むとともに、常に世界最先端の技術や知識の習得を積極的に支援する学習環境を整備する。

以 上